

放課後子ども教室モデル事業 第三者評価書【様式】 (第3クールを含む全クール総合評価)

氏名

1. 利用実績の評価

(1) 放課後子ども教室モデル事業への登録者に占める参加児童の割合について

①子ども教室登録児童に占める子ども教室参加児童の割合が、第1クール（18.2%）よりも第2クール（13.5%）の方が、約5%減少し、第3クール（18.8%）では、第1クールよりも0.6%、第2クールよりも5.3%増加したことについて

クール	全児童数（人）	登録子ども教室数（人）	参加1日あたりの児童数（人）	全児童登録に占める割合（子ども）	全児童参加に占める割合（子ども）	参加児童に占める子ども教室登録児童の割合（子ども）
第1	1,577	504.3	91.5	32.0%	5.8%	18.2%
第2	1,577	563.1	76.3	35.7%	4.8%	13.5%
第3	1,524	499.4	93.7	32.8%	6.1%	18.8%
全クール	1,559	522.3	84.3	33.5%	5.4%	16.1%
(参考) 他市	13,245	4,497.0	648.8	34.0%	4.9%	14.4%

【検討の視点】

プログラム内容は基本的に全クールとも変えていない状況で、夏季休業期間中に実施した第3クールは、パーセンテージ・参加者実数とも、第2クールよりも数値が上昇し、第1クールと同程度であったことをどのように評価するか。

選 択 肢

このような事業は、物珍しさも手伝って、最初は参加者が多く、その後落ち着いてくるものと考えられることから、それが第1クールよりも第2クールの児童の参加割合が減少した原因と思われる。

第1・第2クールとプログラム内容が変わらなければ、第3クールでも、物珍しさのなくなった第2クール程度の数値で推移するか、さらに低下すると思われるところ、第1クールと同程度の登録児童数の中で、パーセンテージ・参加者実数とも、数値が第1クール程度に回復しており、今後更なる調査は必要だが、児童・保護者に対するアンケートでも夏季休業期間中の子ども教室に対するニーズが高いことが明らかになっていたように、これは、そのニーズの高さが数値で裏付けられたものではないかと推定される。

このような事業は、物珍しさも手伝って、最初は参加者が多く、その後落ち着いてくるものと考えられることから、それが第1クールよりも第2クールの児童の参加割合が減少した原因ではないかと、第2クール終了時には考えた。しかし、第3クールが終了し、第1クール程度に児童の参加割合が回復したとはいえ、数値の差も5%程度であるため、今後さらに調査を続け、複数年にわたり同傾向が見られない限り、これをもって夏季休業期間中のニーズの高さが数値で裏付けられたと考えるのは早計で、現時点で評価するのは難しい。

(その他の評価／自由記述)

(2) 放課後子ども教室モデル事業の参加児童に占める、留守家庭児童会室入室児童の割合について（放課後子供教室と放課後児童クラブの総合的な運営の観点から）

クール	全児童数（人）	子ども教室登録児童数（人）	子ども教室延べ参加（人）	参加1日あたりの児童数（人）	登録児童数（人）	子ども教室参加（人）	留守家庭児童会室登録児童数（人）	子ども教室参加（人）	留守家庭児童会室入室児童数（人）	子ども教室参加（人）	留守家庭児童会室入室児童数（人）
第1クール	1,577	504.3	2,014	91.5	600	27.3	29.8%	325	54.2%	5.5%	4.3%
第2クール	1,577	563.1	3,847	76.3	1,422	28.2	37.0%	939	66.0%	7.2%	5.4%
第3クール	1,524	499.4	2,500	93.7	996	37.2	39.8%	859	86.2%	13.5%	9.2%
全クール	1,559	522.3	8,361	84.3	3,018	30.4	36.1%	2,123	70.3%	8.4%	6.0%

①放課後子ども教室に実際に参加した児童のうち、留守家庭児童会室にも登録している児童は、第1クールは子ども教室参加者全体の29.8%、第2クールは約37%、第3クールは約39.8%であったことについて

【検討の視点】

全児童対策の観点から見て、この数値をどのように捉えるか

選 択 肢	
	子ども教室参加児童の約30%から40%が留守家庭児童会室にも登録し、パーセンテージも上昇傾向にあり、子ども教室への参加を望む留守家庭児童会室児童を含む全児童のニーズを一定受け止めており、全児童を対象とした放課後子ども教室として順調に進捗しており、今後参加児童数がさらに増加することを期待する。
	留守家庭児童会室登録児童と登録していない児童がともに遊べる環境が整備されたという観点では評価できるが、実数で見ると、4校合計の全児童数1,559人に対し、1日の平均参加者は84.3人（5.4%）であり、また、留守家庭児童会室に登室した児童のうち、その日放課後子ども教室に参加したのは全体の約8.4%であることから、放課後子ども教室自体が児童にまだまだ受け入れられておらず、順調な進捗状況とは言えない。

（その他の評価／自由記述）

②放課後子ども教室に実際に参加した児童のうち、留守家庭児童会室にも登録している児童の中で、第1クールは約54.2%、第2クールは約66.0%、第3クールは約86.2%、全クール平均70.3%が、子ども教室終了後、留守家庭児童会室にも登室していることについて

【検討の視点】

放課後子ども教室と留守家庭児童会室の連携の好事例と捉えるか、放課後子ども教室に参加後に留守家庭児童会室にも登室していることを、児童が放課後子ども教室だけでなく、留守家庭児童会室も必要としているということで、放課後放課後子ども教室が留守家庭児童会室の代替として機能していないと捉えるか

選 択 肢	
	全クールとも、放課後子ども教室に参加した留守家庭児童会室登録児童の半数以上が、参加当日、子ども教室終了後に留守家庭児童会室にも登室しており、放課後子供教室と放課後児童クラブの総合的な運営における、ニーズに応じて事業を選択できるという目指すところが実現されており、当初目的を達成している。 なお、第3クールの比率が高いことについては、第3クールは夏季休業期間中の午前中（9時30分～12時00分）のみの実施であったため、午後に留守家庭児童会室で過ごす児童が多かったものと考えられる。
	全クールとも、放課後子ども教室に参加した留守家庭児童会室登録児童の半数以上が、参加当日、子ども教室終了後に留守家庭児童会室にも登室しているということは、子ども教室が留守家庭児童会室の代替として機能しておらず、放課後事業を子ども教室に統合することが難しいことを表しており、さらなる統合に向けた取組が必要である。 なお、第3クールの比率が高いことについては、上記選択肢の理由のとおりと思われる。

（その他の評価／自由記述）

③放課後子ども教室への1日あたりの参加人数が、第1クールは留守家庭児童会室登録児童27.3人[29.8%]と同未登録児童64.2人[70.2%]（計91.5人）、第2クールは同登録児童28.2人[37.0%]と同未登録児童48.1人[63.0%]（計76.3人）、夏季休業期間中に実施した第3クールは同登録児童37.2人[39.8%]と同未登録児童56.5人[60.2%]（計93.7人）であったことについて

【検討の視点】

留守家庭児童会室登録児童の参加は実数・比率とも増加傾向にあること、同未登録者は、実数が多い順に第1クール・第3クール・第2クールとなり、比率は第1から第3クールにかけて減少傾向にあることをどのように捉えるか

選 択 肢	
	留守家庭児童会室登録児童は、授業のある登校日、三季休業期間を問わず、平日は保護者の勤務等の関係で、一定時刻まで学校に留まることを求められており、クールを問わず一定数の児童がそのニーズに応じて参加したものと思われる。 同未登録児童は、物珍しさで第1クールに多くが参加し、第2クールで魅力が薄れて参加者が減り、夏休みは児童または保護者が、例えば一日中家にいるよりもなどと判断し、参加者がある程度戻ったのではないかと考えられ、登録児童と未登録児童との比率の変化はこの状況を表したものと思われる。
	変化した数字だけを見れば、上記のようなことが言えるかもしれないが、そもそも全児童に占める参加者の割合が低く、その中での少々の数字の増減は、全児童対策の観点からは有意の数字の変化ではないと思われる。

（その他の評価／自由記述）

2. 総合的な評価

(1) 第1クールの各校別の自己評価表、第2・第3クールの運営業務委託事業評価表に記載された、事業全体に関する委託事業者の自己評価とそれに対する教育委員会の評価について、業務委託仕様書の内容に照らし、妥当であるかどうかの評価をお願いします。

【検討の視点】

業務委託仕様書の内容に照らし、委託事業者の自己評価と教育委員会の評価が妥当であるかどうか

選 択 肢	
	業務委託仕様書に基づき、委託事業者の自己評価及びそれに対する教育委員会の評価を適正に行っており、その内容についても概ね妥当。
	業務委託仕様書に基づき、委託事業者の自己評価及びそれに対する教育委員会の評価を概ね適正に行っているが、その評価内容について一部妥当ではない点が見受けられる。その妥当ではない点については、以下のとおり。（「その他の評価／自由記述」欄にご記入ください。）
	委託事業者の自己評価及びそれに対する教育委員会の評価は、業務委託仕様書に基づかず不適正で、その内容についても妥当ではないものが多く見受けられる。その内容については以下のとおり。（「その他の評価／自由記述」欄にご記入ください。）
(その他の評価／自由記述)	

3. その他の評価

(1) 上記の評価項目の他に第1・第2クールの放課後子ども教室について記載すべき評価等があれば、以下にご記入ください

(自由記述)
